

## 館内語り部・出張講演

当館では、現地体験プログラム以外にも震災当時の体験談をメインとした「館内語り部」や「出張講演」をご用意しております。2011年3月11日に何が起きてどのような状況だったのか実体験に基づきお話いたします。

震災を経験した人のお話を聞きたい、釜石市には行けなくても体験談を聞いてみたいという方におすすめのプログラムです。



### ①館内語り部（30分コース、1時間コース）

「震災を風化させたくない。」

東日本大震災発生から長い月日が流れました。その間に街は復興に向かい、私たちは元の生活を取り戻しつつあります。しかし、あの日の出来事を風化させ、更なる悲劇を生むことは避けなければなりません。その使命の下、私たちはこの「いのちをつなぐ未来館」を運営しています。私たちはそんな思いから、震災の出来事を語り続けます。

「自然災害は必ず来る。その被害を少しでも減らす助けになりたい。」

自然災害は誰もが遭遇する可能性があるものです。しかし、いつどこで起こるか分からない脅威に対して、準備を万全に期することはとても難しい。一方で、災害に備えることで減らせる被害は必ずあります。釜石市は震災当時の経験から、その備える大切さを実感し様々な教訓を得ました。リアルな経験をお伝えすることで、皆さんが身近な災害の可能性について少しでも考えるきっかけにいただけたら幸いです。

### ②出張講演

「どこでも震災当時のお話を。直接語るからこそ伝わる大切なこと。」

「被災した現地で直接見るからこそ感じることもある」、実際に釜石市を訪れた方々はこの言葉を口にします。現地だからこそ分かること、感じられることがあるのは事実かと思えます。

しかし、学びたいのに現地へ行けない、どのように学ぶべきかわからないといった悩みの声も多く届いております。また、震災について学ぶためには被災地へ行かなければならないというイメージも少なからず持たれています。私たちは「震災を学ぶためには、こうしなければいけない」といった概念を少しでも取り除きたいと考えています。

その一つとして、どこにいても当時に学び、感じることができるようプログラムを形にしました。また、対面でお話することによって、より鮮明に当時の様子についてお伝えすることができると思えます。

被災地へ訪れてみたいけれども遠い、時間的にも余裕がない、震災や防災学習について当時の体験を聞いてみたい、そのような方々におすすめのプログラムです。

詳しい料金・申込方法に関しては、ホームページに掲載の「申込要項」および「申込書」をご参照ください。